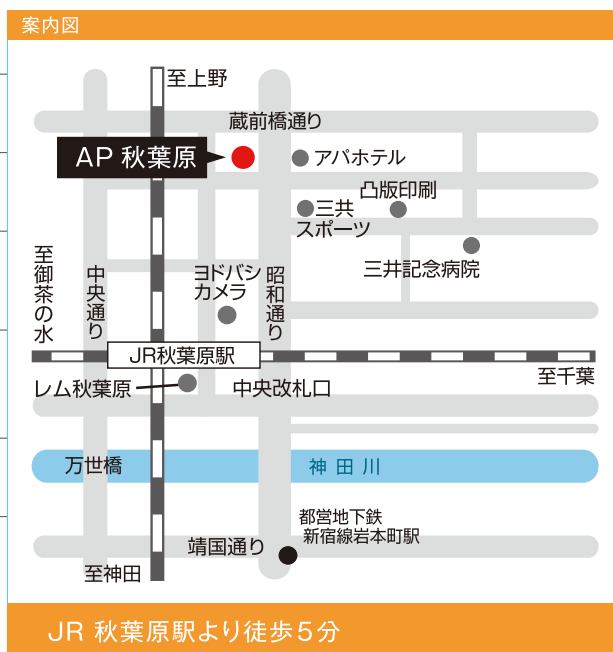


募集要項

募集期間	令和7年6月2日(月)～7月31日(木)
受講期間	令和7年8月27日(水)～12月3日(水)
場所	AP秋葉原 他
募集定員	10社(1社2名まで受講可能) ※応募者多数の場合、ご受講頂けない場合があります。
受講対象	・都内中小商業・サービス事業者の経営者・管理者 ・生産性向上の取り組みを中核的に推進する中堅社員
受講料	50,000円(税込み)／1社(2名まで受講可能)

募集についての詳しい内容はHPでもご案内させていただいております。



申込み・受講の流れ

1 お申込み・受付

QRコードもしくはURLよりHPにアクセスいただき、
申請フォームよりご応募ください。

URL: https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/genbakaizen_suishin/school.html



申込締切 7月31日(木)

申請フォームでは下記項目についてご記載ください。

- 生産性向上における自社の課題(お困りごと)
- 課題に対する対策(実施済み、予定等)
- スクールで学びたいこと、意気込み

※応募者多数の場合には、お申込みの内容をもとに書類選考を実施するため、ご受講いただけない場合があります。

2 受講決定／受講料振込

受講が決定された方には、決定通知をお送りします。決定
通知後、開講日までに指定する口座へ受講料をお振り込み
ください。

3 開講～終了

受講期間は令和7年8月27日(水)～12月3日(水)です。
上記の期間中、8割以上出席した方に修了証を授与します。

※全体の出席率が8割に満たない場合、修了証を発行できないことがあります。



公益財団法人 東京都中小企業振興公社

総合支援部 生産性向上支援課

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9
東京都産業労働局秋葉原庁舎5F
● JR「秋葉原」中央改札口徒歩1分

TEL:03-3251-7917

E-mail seisansei@tokyo-kosha.or.jp
ホームページ <http://www.tokyo-kosha.or.jp/>

令和6年度5月作成。本紙の内容は予告なく変更する場合がございます。

あらゆる
商業・サービス業
のためのスクールです。



小売業も



建設業も



理美容業も



事務担当も



ITサービス業も



飲食業も



営業も

第4期東京都サービス生産性革新スクール

商業・サービス業のための しごとと見える化 お悩み解決スクール



研究サービスも



運送業も



教育サービスも



接客業も



公益財団法人 東京都中小企業振興公社

しごと見える化お悩み解決スクール（見える化スクール）は、
「商業・サービス業」のための生産性向上を目的としたスクールです。

本スクールは、体系的かつ実践的な研修プログラムです。受講者は、自社の生産性向上につながるフレームワークやデジタル技術の活用について学ぶことができ、業務の大幅な効率化、それに伴う顧客満足度向上や同業他社との差別化について貢献します。

「サービス生産性向上」とは

ムリ・ムラ・ムダを減らして、使える資源（時間とお金）を増やし、新たな取組みを行い、売り上げを伸ばすことで、企業を成長させることです。

このような方におすすめです。

人手不足で困っている

社員の意識統一ができていない

デジタルツールの活用方法がわからない

残業時間が多くて困っている

上記のようなお悩みを解決するためのスクールです。

「学ぶ」「考える」「実践する」のサイクルを通して、
自分の会社の課題に気づき、解決方法を明確にします。

しごと見える化お悩み解決スクール

生産性向上に向けた改善計画を策定するまでをサポートします！

・全11回の講義を実施

・自社の現状を正しく理解し、課題解決の手法を取得

・1社に1人の担当講師を選任

・直接企業を訪問し、個別具体的にアドバイス

講義
学ぶ

個別支援
実践する

ワーク
考える

・講義で学んだ分析手法に挑戦

・取り組み内容は個別支援でフィードバック

修了後の支援メニュー

現場改善アドバイザー派遣

改善計画の実行をサポートします！

スクールで策定した計画を実行する際に、講師で構成する「現場改善」のスペシャリストによる個別支援が利用できます。改善活動を継続するマイルストーンとしてもご活用いただけます。

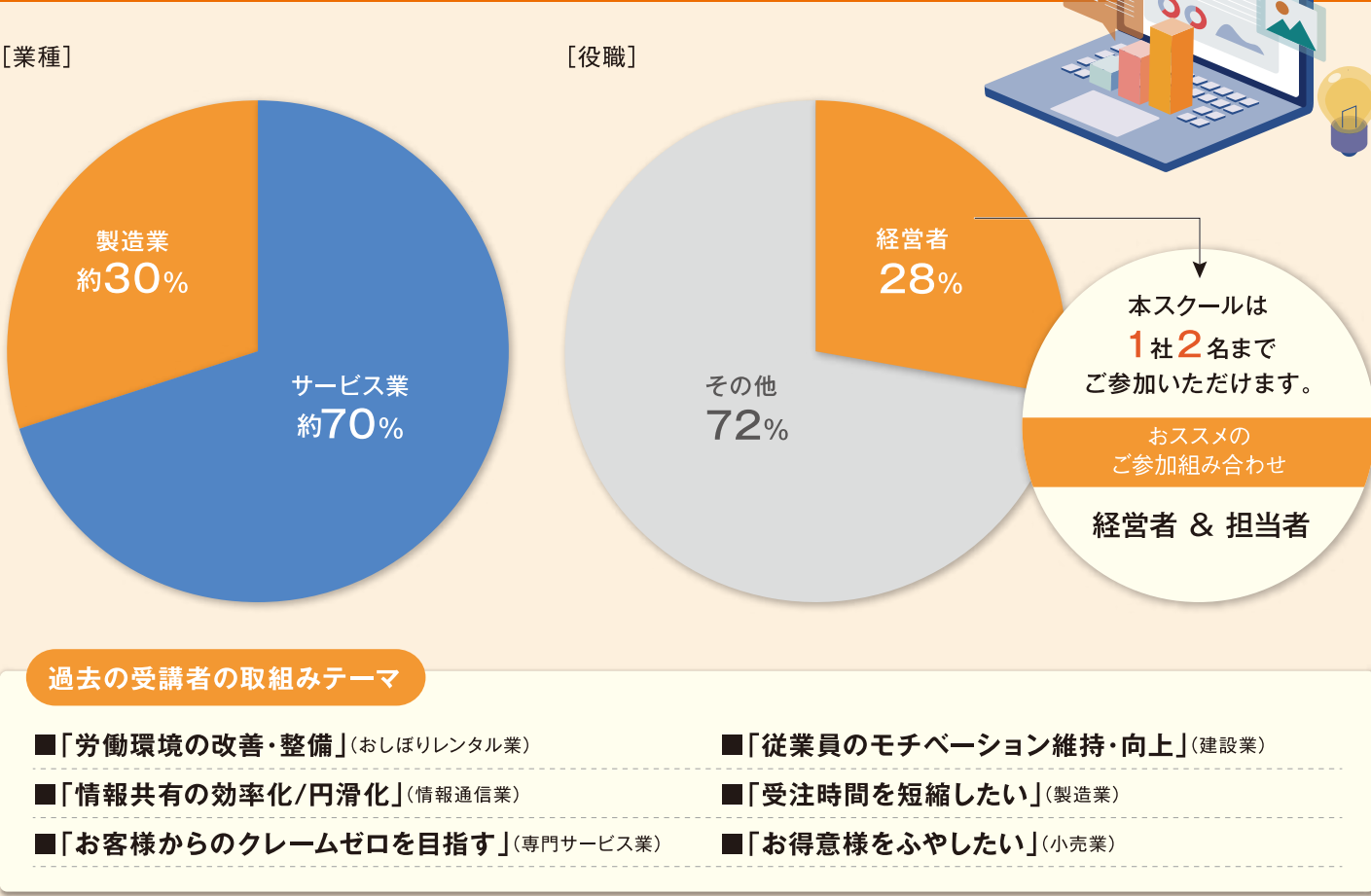
※別途お申し込みが必要です。
※有料の支援メニューとなります。

修了生交流会

年度の異なる修了生と交流できます！

スクール終了後、各期の修了生が改善計画の取り組み状況や成果を発表し、相互交流することができます。

このような方にご受講いただいております！



カリキュラム

講義						個別支援
実施日	受講時間	STEP	内容	主な講義項目	企業のゴールイメージ	実施期間
第1回	8/27 (水)	13:30~16:30	導入	■オリエンテーション ■サービス生産性に向けて考えるべきこと	・サービス生産性向上とは ・スクールカリキュラムの全体像(1枚絵)の説明 ・業務の「やるべき」について ・生成AI活用の基礎を学ぶ	サービス生産性の基本概念や全体カリキュラム、生成AIの基礎を解説し、業務改善のための考え方を整理する。
第2回	9/3 (水)	13:30~16:30	STEP1 改善したい テーマの 決定	■課題の整理・分析 (改善プランの作成方法・環境分析・テーマの検討)	・サービス生産性改善プラン ・サービス生産性テーマ設定方法 ・経営資源分析(事業概要の整理) ・ペイオフマトリックス	課題整理と環境分析、テーマ設定の手法を学び、サービス生産性改善プラン作成の基礎を固める。
第3回	9/10 (水)	13:30~16:30		■問題の構造化 (取組テーマの決定、真因分析、課題の明確化)	・問題の定義(あるべき姿「直面型」・ありたい姿「設定型」) ・原因の深掘り ・打ち手の考案 ・生産性改善プラン作成(ワーク)	問題の本質を捉え、真因分析を通じた具体的改善策の立案方法を習得する。
第4回	10/1 (水)	10:00~16:30		■中間報告会	・各受講者(各社)の発表 ・講師の解説 ・受講者のコメント(輪番制)	中間報告を通して各社の取組状況を共有し、講師や参加者からのフィードバックで改善の方向性を明確にする。
第5回	10/8 (水)	13:30~16:30	STEP2 テーマの 解決手段を 検討	■業務の見える化(2S、スケジュール、プロセス、スキルの見える化) ■業務フロー図の書き方 (大きい視点・小さい視点、Business Process Modeling Notation)	・生産性向上を正しく理解する ・業務フローの見える化・書き方 ・業務改善の基本的な考え方	業務プロセスの可視化と業務フロー図の作成手法を学び、現状把握と課題の優先順位整理を行う。
第6回	10/15 (水)	13:30~16:30		■業務の標準化(ロジカルシンキング、手順書・業務マニュアル作成) ■効果測定の方法(目標設定の方法、KGI、KPI、SMARTの法則、データの読み方)	・業務の標準化・マニュアル化 ・生産性を高めるティーチング・コーチング技法 ・生産性向上における効果測定の方法 ・生産性向上におけるデータ活用とデータの読み方	業務の標準化とマニュアル作成、さらに効果測定の方法を理解し、生産性向上の具体策を設計する。
第7回	10/22 (水)	13:30~16:30		■業務棚卸表・業務フロー図、業務マニュアルの作成(ワーク)	・業務棚卸表・業務フロー図の作成(ワーク) ・業務マニュアルの作成(ワーク) ・効果指標の作成(ワーク)	実践演習を通して業務棚卸表、業務フロー図、業務マニュアル作成のスキルを体得する。
第8回	10/29 (水)	13:30~16:30		■デジタル化の進め方 (デジタル導入前にすべきこと、導入に向けての5つのステップ、生成AI、ノーコードツールの活用)	・デジタルを導入する前にすべきこと ・デジタル導入に向けてのステップ ・生成AIとノーコードツールの活用	デジタル導入前の準備やステップ、生成AI・ノーコードツールの活用方法を学び、デジタル化推進の方法を検討する。
第9回	11/12 (水)	13:30~16:30	STEP3 改善プランの 完成	■生産性を上げるための組織づくり	・組織の自走を促すマネージャーの役割 ・指示の出し方とルール ・チームで成果を出すコツ	自身のマネージャーとしての在り方を見直し、組織能力を最大化する。
第10回	11/26 (水)	13:30~16:30		■経営者から講演(講演&ディスカッション)		経営者による経験を踏まえた講演とディスカッションを通じ、企業全体の視点から生産性向上戦略を考察する。
第11回	12/3 (水)	10:00~16:30		■最終発表会	・各受講者(各社)の発表 ・講師の解説 ・受講者のコメント(輪番制)	質疑応答 ・グループフォーム入力 最終発表会で各社の取組みを共有し、フィードバックを基に総合的な課題解決策を完成させる。

※やむをえない事情で欠席される場合は、各講座とも期間限定でオンデマンド視聴も可能です。ただし、出席扱いにはなりません

講師紹介 | 受講者の皆さまへと言

岩岡 博徳 Hironori Iwaoka

中小企業診断士/ITコーディネータ

業務効率化は現場改善だけでなく、経営そのものから見直す必要があります。一緒にあるべき姿から考えていきましょう！

河野 博志 Hiroshi Kono

中小企業診断士/
MBA (経営学修士号)

抱えている課題や事情は会社毎・個人毎に異なることをよく理解しているつもりです。一緒に解決できましょう。

酒井 勇貴 Yuki Sakai

中小企業診断士/
MBA (経営学修士号)

先人達が残してくれた改善手法を学び、目が覚めるような生産性向上を実現しましょう！

小早川 渡 Watari Kobayakawa

中小企業診断士/ITコーディネータ

自社のことは専門家でもわからないものです。失敗も学びになります。スクールで客観的な視点を入れて、まずは試しに改善の一步目を踏み出してみましょう！

豊島 慎司 Shinji Toyoshima

中小企業診断士/
ITコーディネータ/ITストラテジスト

私たちのスクールでは、実際に役立つ技術を身につけることができます。この機会に、新しいステップを踏み出しましょう！

受講者からの声

慢性的な人手不足と、属人化して非効率な業務を改善したいと思い、参加しました。受講してみて、「本当に現場が困っていること」を深掘り、分析してから改善することの大切さを認識しました。

40代・運輸業・次長

アプリの有効活用と、受発注業務の効率化、生産管理手法の見直しがしたいと思い、参加しました。受講したことで、これまでやりたくても手を付けられなかったことに取り組みきっかけとなり、あらためて自身の業務の見える化の重要性を実感しました。

50代・小売業・代表

個別支援を受けたことで、チーム全体の意識改革にもつながりました。他企業の取組みもたいへん参考になり、成功例だけでなく、苦勞や失敗談も共有いただけたことで実践的な学びを得ることができました。

30代・生活関連サービス業・所長